

2025 年 7 月

一般社団法人日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会
会員 各位

このたび 2025 年日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会班研究の研究課題が
「脂肪注入および人工物または自家再建によるハイブリッド乳房再建の効果と安全性の検討」と「内視鏡下乳頭温存皮下乳腺全摘および内視鏡下広背筋皮弁の有効性と安全性の検討」に決定しました。

つきましては班員の公募を開始いたします。締め切りは 2025 年 7 月 31 日（木）17：00（必着）となりますので奮ってご応募ください。

尚、本年より JOPBS の班研究に重複しての参加は不可といたします。現在班研究にご参加中の方は応募できません。今回課題が 2 つございますので、2 つに応募することは可能ですが、両方の班員にはなれませんのでご容赦ください。

各課題の詳しい応募要項は以下の通りです。[班研究申込書](#)に記入の上ご応募ください

記

◆ 課題 1：「脂肪注入および人工物または自家再建によるハイブリッド乳房再建の効果と安全性の検討」

- ・研究概要：脂肪注入を活用したハイブリッド乳房再建の現状と問題点の検討・後ろ向きおよび前向き症例集積研究からの本邦におけるエビデンス創出

◆ 課題 2：「内視鏡下乳頭温存皮下乳腺全摘および内視鏡下広背筋皮弁の有効性と安全性の検討」

- ・研究概要：内視鏡下 NSM および内視鏡下 LD の現状と問題点の検討・後ろ向きおよび前向き症例集積研究からの本邦におけるエビデンス創出

- ・研究期間：2025 年度より 2 年間
- ・班構成：10 名以内（乳腺外科と形成外科の両者を含む）
- ・選考方法：研究企画委員会で選考し、理事会で決定する
- ・研究費：200～250 万円×2 年

・研究発表：

1. 中間報告 第14回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会（2026年）
2. 最終報告 第15回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会（2027年）
3. 本学会誌またはPubmedに採録されている英文誌へ研究終了後1年以内に投稿する

・応募方法：「班研究課題申込書」1枚にて個人1名の応募とする

送付先： 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 研究企画委員会宛

E-mail：jopbs-office01@shunkosha.com

・応募締切：2025年7月31日（金）17：00（必着）

以上

一般社団法人日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会

理事長 石川 孝

研究企画委員会

委員長 枝園 忠彦

副委員長 富田 興一